

慶應義塾大学 総合政策学部・環境情報学部 (SFC)  
2016 年度一般入学試験「情報」の各問題について～入学者アンケート

2016 年 11 月

キミのミライ発見

氏名	小野真太郎	出身高校名	西南学院高等学校
受験学部	総合政策学部、環境情報学部	入学学部	環境情報学部

1. 総合政策学部の入試について

(1) 総合政策学部の入試問題の大問 4 つごとに

① 総合政策-I

基本的な情報の知識を問う問題です。基本的といっても教科書でカバーできる問題とそうでない問題が見受けられます。全体的に比較的易しい傾向にあり教科書レベルの設問もあるものの、全問正解は厳しく、点になるところは落とさない戦略で解きました。教科書レベルではない設問は、混乱する前に消去法で丁寧に解いていきました。知識問題なので、1 回読んだ時に問題文が理解できなかった部分はすぐに答えを出そうとせず、最後に解きました。

教科書の問題内容が多かったので、情報の教科書を何回も復習するだけで高得点を狙える問題内容でした。ただ、完璧(全問正解)を追い求めるために時間を費やすのは得策ではないと思います。教科書レベルの基本問題を落とさないように勉強しつつ、最新の情報に関する知識を本やインターネットなどで幅広くを取り入れていくことが重要だと思います。

② 総合政策-II

(ア) は教科書レベルの設問で基本的なものなので、間違いは許されないでしょう。

(イ) は 2 進表現を絡めたパズルのような問題です。(ウ) の最後の問題は出題ミスでした。大学はこの大問で、論理的思考力を問いたかったのではないかと思います。

③ 総合政策-III

データベースのテーブル設計の問題で、この場で考え解答する大問の代表例として挙げられると思います。

④ 総合政策-IV

プログラミングの問題は合否に影響するとまで言われるので、すべて正解できないと判断しても、部分点を取りに行きましょう。

## (2)総合政策学部の入試問題の全体を振り返って

### ①難しかった部分

大問4 すべて正しく解答できなかったのは敗因の一つと考えています。

### ②易しかった部分

大問2 算数・数学(易)レベルの問題が多くちりばめられていました。

### ③どのくらいできたか

大問4を解ききることができなかったため、156点前後と考えています。

### ④全体としての試験勉強対策として

SFCは学科で8~9割取り、小論文で対決という道筋が一番正攻法です。小論文が鍵になることは間違いなく、自己採点で学科4割でも合格している例や、自己採点で学科8割なのに不合格になってしまった例があります。小論文を怠ってしまっただけでは、どんなに情報で得点しても合格には近づけないと思ったほうがいいかもしれません。

情報入試の対策にはまず教科書があげられます。その上でITパスポート試験や基本情報処理技術者試験からSFCと出題傾向があうものに取り組んでみてください。数独などの気分変換に用いてはどうでしょうか。また、プログラミング問題は合否の鍵を握るとも言われていますので、全部正解することができなくてもマークシート方式であるため、多少の部分点を得ることが可能です。最後まで諦めないで取り組んでみてください。

## 2. 環境情報学部の入試について

### (1)環境情報学部の入試問題の大問4つごとに

#### ①環境情報-I

1.(1)①総合政策-I 参照

#### ②環境情報-II

大学はこの大問で、論理的思考力を問う問題を提示したかったと考えられます。論理演算・負の2進法を除くすべての設問は、この場で考え解答する設問でした。

#### ③環境情報-III

ネットワークを始めとする用語等を問う大問でした。これは教科書や参考書に記述されている知識をしっかり身につけているか、それを応用して解答できるかが大切になってくると思います。

④環境情報-IV

1.(1)④総合政策-IV参照

(2)環境情報学部の入試問題の全体を振り返って

①難しかった部分

大問 1 自信を持って回答できる質問が少なかったです。

②易しかった部分

大問 2 論理演算（特に2進数の負数表現）は対策としてバッチリであったこともあり、非常に簡単だと感じました。

③どのくらいできたか

186点前後と考えています。

④全体としての試験勉強対策としては

1.(2)④総合政策の欄を参照してください。